

2018年11月通常会議 教育委員会委員の任命に対する討論

2018年11月26日

杉浦 智子

私は日本共産党大津市会議員団を代表して、ただいま提案されております 議案第 174 号 教育委員会委員の任命について 反対の立場で討論します。

本議案は、この 12 月 19 日に任期満了を迎える教育委員会委員の前田真紀氏について、再任しようとするものです。

質疑ではこの 4 年間の前田氏の実績として、保護者の立場で市内小中学校へのスクールミーティングにも積極的に参加され、子どもたちの姿や先生方など学校現場の現状把握にご努力いただき、引き続き保護者の視点に期待をされているとのこと。

今、直面している不登校やいじめの問題や学校の規模適正化や通学区域、コミュニティスクールなどの地域を巻き込んだ問題、深刻化する教職員の多忙化、子どもたちの教育環境の整備など山積する課題は、大津市の地域性や特徴に由来することもあると思います。少子高齢化がますます進むと予測されていますが、市内各学区の特徴を生かしつつまちづくりを進めていこうとすれば、地域の教育力を強化するための社会教育を充実させていく必要があります。そのためにも地域に通じ、地域の子どもたちとの接点や現場の声を大切に、教育委員会の活動を充実させていただきたいと願うものです。

前田氏の人物やこれまでからの経験、実績を否定するものではありません。

日本共産党大津市会議員団はこの教育委員会委員のメンバーに、大津市の地域性を踏まえ大津市で育つ子どもたちと関わってこられた学校現場経験者の任命を繰り返し求めてきたところです。地域の子どもたちが抱えるさまざまな困難を受け止め、地域の教育を地域でつくりあげていくという教育における住民自治の観点からも、教育委員会委員の構成は地域に関わりの深い方々の中から選ぶべきと考えます。

以上の点を指摘し反対討論とします。